

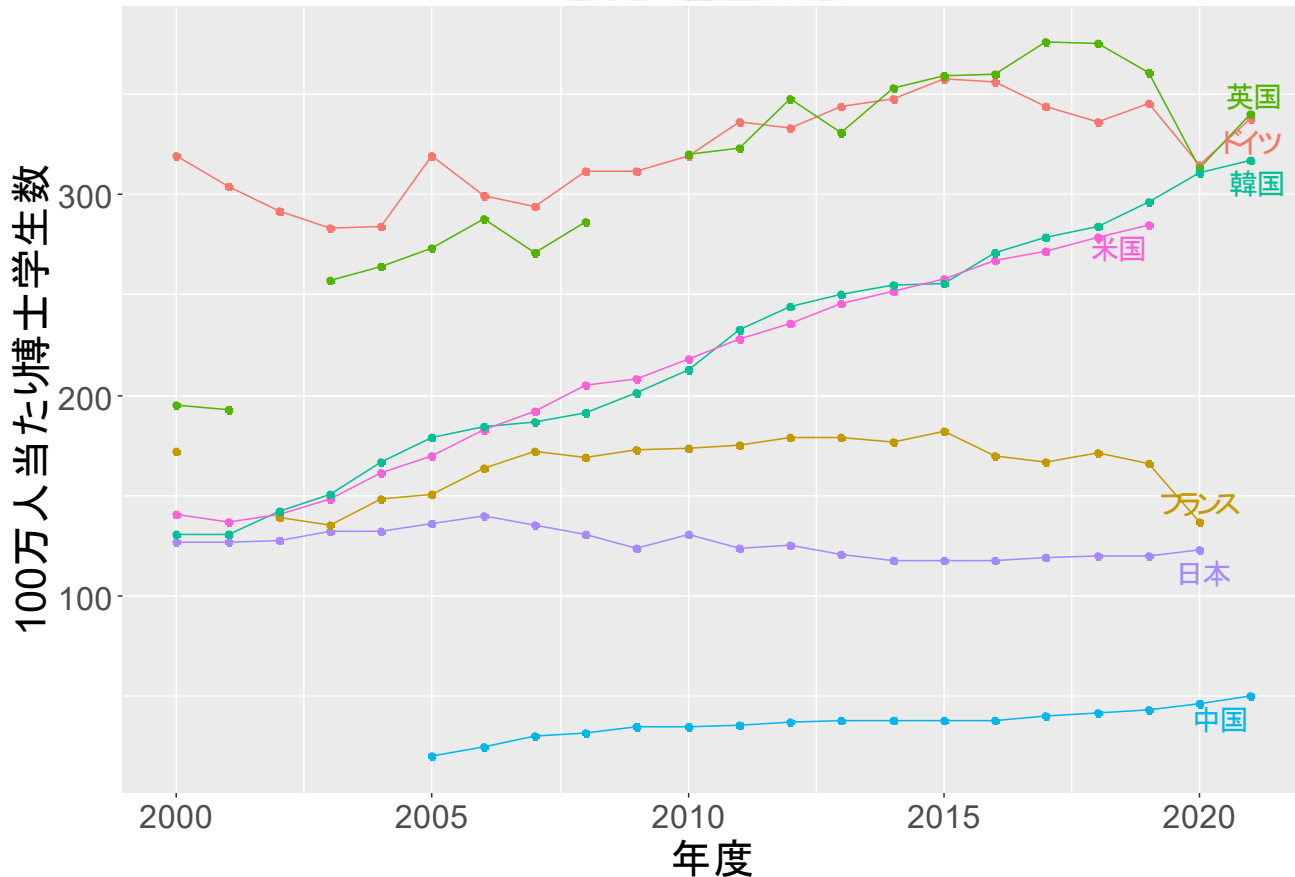
2025年度 博士後期課程進学説明会

2025年9月13日
東北大学・工学研究科長
伊藤 彰則
(通信工学専攻・教授)

日本での博士号取得者数の減少

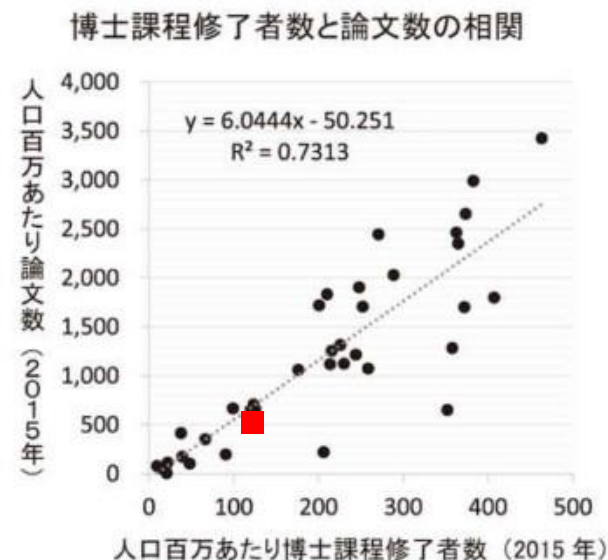
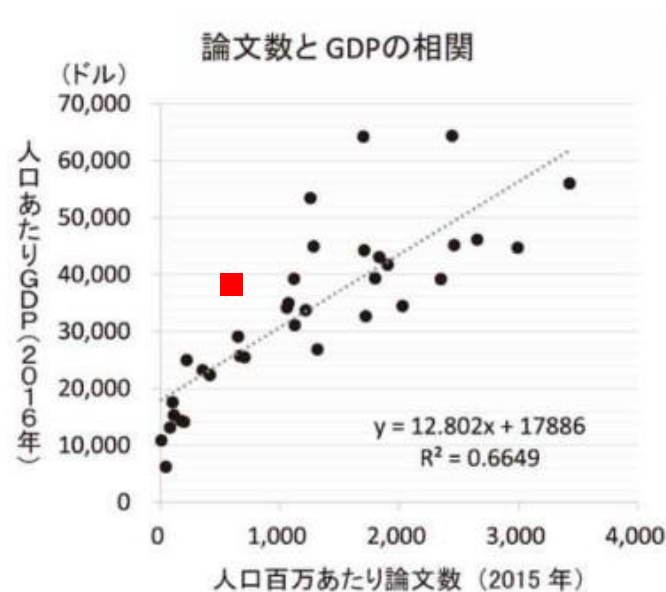
日本の博士課程学生数は20年間伸び悩んできた

- 企業の待遇の問題
- 学生の経済状況の問題



データはNISTEP 科学技術指標2023より

博士が創る、日本の未来！



OECD加盟35ヶ国の
論文数とGDPの関係



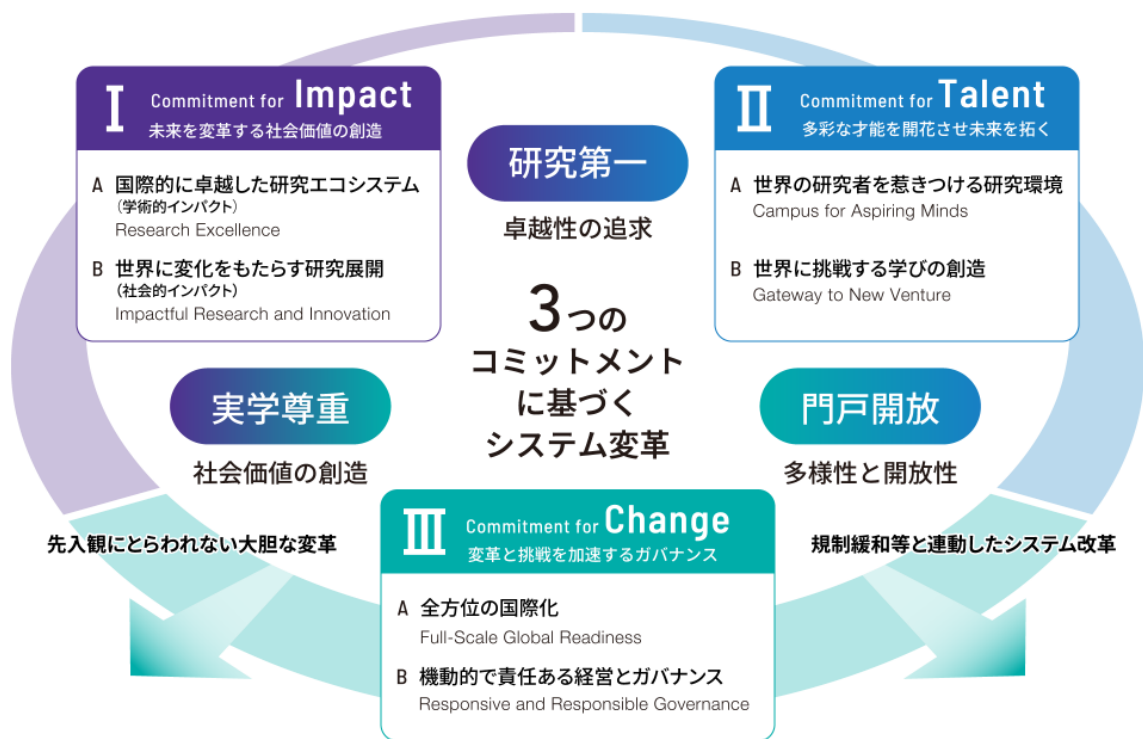
国際卓越研究大学として日本の研究を牽引

東北大学は初めての「国際卓越研究大学」に選定

我が国においても、大学の機能拡張を推進する中で、大学が国際的な切磋琢磨を通じて研究力を向上させるという緊張感を持ち、**世界トップクラスの研究者の獲得**はもとより、**次代を担う自立した若手研究者を育成**し、活躍できるようにするための大胆な資源配分、**研究時間を十分に確保するための研究者の負担軽減**、大学の有する**知的資源の価値化**等に取り組んでいくことが求められています。

(文科省HPより)

平和で公正な人類社会の実現に貢献
建学の理念を礎として知・人材・社会価値を創出



新たな知識経営体として機能拡張し、社会・世界への波及を拡大

国際卓越研究大学と博士学生の教育・支援

教育の国際化

留学生比率



博士課程学生の修了時までの
国際経験割合



日本人の博士学生に
100%の支援（予定）



博士学生への経済支援

博士課程学生への平均経済支援額



- ✓ 「若手研究者」として大学・研究機関で活躍
- ✓ 企業研究者・開発者として活躍
- ✓ スタートアップ

「高等大学院」による学際的な教育

東北大学独自の教育ガバナンスを確立する「高等大学院」を設置

- 全大学院の定員、学生配置、学位授与等を一元管理
- 学術・社会ニーズ等に機動的に対応する横断型学位プログラムの全面展開（17→50プログラムへ拡大、学生参画率100%）
- 海外大学等との連携により国際経験を必須化（8→100%）

・ 博士号は

- 企業においても一人前の研究者の免許証
- 世界で活躍するためには必須のアイテム

・ 博士号を持つ人は

- 自分で考え、自発的に行動する
- 自分の人生を他人任せにせず、自分で決断する
- 職位は概ね10年毎に変わり、職責も優れたリーダーとしての要求度が上がる